

# 緑のカーテンの育て方

## ● 種の採取&保管方法

### (1) ゴーヤの場合

- ①実を収穫しないで、黄色く熟しはじけるまで待ちます。
- ②はじけた実の中の真っ赤なゼリー状の粒を水で洗い流します。
- ③陰干しし、封筒など通気性のよい袋に入れ、冷暗所で保管します。



### (2) アサガオの場合

- ①実がうす茶色になり、外皮が乾燥してから採ります。
- ②陰干しし、封筒など通気性のよい袋に入れ、冷暗所で保管します。



## ● よくある質問

項目	質問	回答
土	昨年と同じ土は使えますか?	育ちや実の付きが悪くなる連作障害が出る可能性があります。新しい土に入れ替えるか、土壌改良剤や腐葉土・堆肥を混ぜてください。
苗植え	小さいプランターには何本植えたらよい?	ゴーヤの場合、1株に必要な土の量は約20Lです。植えつける苗の本数を調整してください。
設置	ネットを張る時の注意点は?	集合住宅で育てる場合は避難経路をふさがないように注意してください。ゴーヤは実がなると重くなるので、頑丈にネットを設置してください。
	ベランダやバルコニーでも育てできる?	プランターを利用すれば栽培できます。プランターやネットが落下しないように注意して設置してください。
発芽	なかなか芽が出ません。どうしたらいい?	発芽には十分な水と温度が必要です。気温や日当たりによって左右されます。10日くらいが目安ですが、もっと日数がかかる場合もあります。
摘芯	摘芯は親ヅルだけでよいの?	子ヅルも必要です。必要に応じて孫ヅルも摘芯してください。
葉	葉の数が少なくて、あまりカーテンらしくありません	脇芽を多く出すことで、カーテンのように広がります。親ヅルの摘芯、子ヅルの摘芯を行い、たくさんのヅルを伸ばしましょう。
	葉が黄色くなって元気がないのですが?	病気、肥料や日光の不足、連作障害が考えられます。
水やり	水のやり過ぎはどう判断したらよい?	いつも湿っている状態はやり過ぎです。土の表面が乾いてからやるようにしてください。
実	ゴーヤはなぜ小さいときに採るのですか? スーパーに売ってあるものは大きいです。	プランターで育成する場合は、地植えと比べて土の養分が少なくなります。あまり大きくならないので、早めに収穫をして次の実に養分を与えてください。



## ◆ 緑のカーテンとは?

ゴーヤ等のつる性植物を窓側に育てて作る自然のカーテンのことです。日陰をつくり、エアコンの使用量を減らすことにより、節電やCO2削減を図る取り組みです。

### オススメの植物



## ◆ どんな効果があるの?

### 緑のカーテン涼しさのひみつ



### 調べてみました!

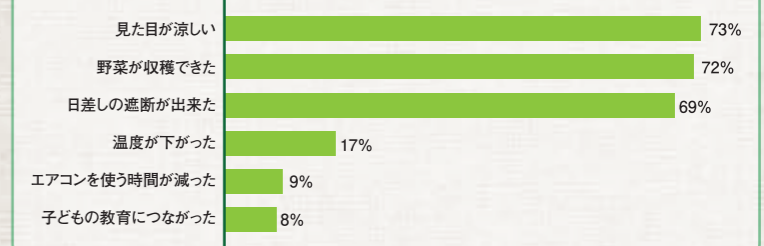
撮影場所:神戸市環境局東クリーンセンター



## ◆ 育てた方から、こんな声が集まっています

- ・窓全体が緑に覆われ、涼しい風が入ってきました。
- ・ゴーヤの実が次々となり、お友達にお裾分けして喜んで頂きました。
- ・ゴーヤの収穫で家庭内の話題もでき、食卓もにぎわいました。
- ・楽しくておいしいエコカーテン! 皆様におすすめします。
- ・室内から色鮮やかなアサガオを見ることができ、癒しとしての効果がありました。

### <緑のカーテンを育てて良かったこと・役にたったこと>



H26緑のカーテンde省エネしてみ隊参加者アンケートより(複数回答可)

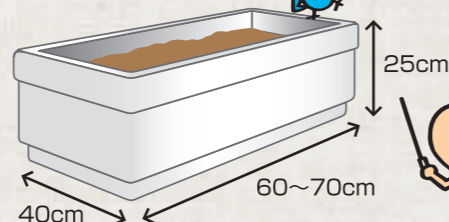
## ◆ 栽培スケジュール

植物	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ゴーヤ		種まき 苗の植え付け					実の収穫	
アサガオ			種まき 苗の植え付け				花が咲く	

## ● 準備編

### (1) 用意するもの

- プランター (縦×横×深さ=60~70×40×25cm程度の大きめのもの)
- 園芸用ネット (標準サイズは10cm角。窓の大きさにあったもの)
- 種か苗
- 土 ((2)を参照)
- 化成肥料
- 鉢底石
- 支柱 (ネットを結ぶ場所がない場合に利用)
- 重し (ネットが風で飛ばぬを防ぐ)
- 結束バンド・ひも (支柱とネットを固定)



プランターは大きさが十分でないと根が張れず、立派なカーテンができないよ。

初めての方や、土作りが難しい方はホームセンターなどで売っている「花と野菜の土」などの培養土が簡単でオススメ!

### (2) 土づくり

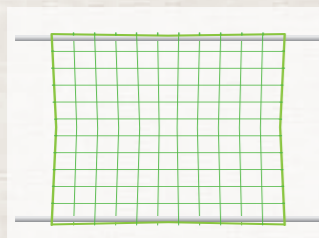
- ① 真砂土(6~7割)、腐葉土(4~3割)、石灰(ひとつかみ)を混ぜ合わせ、1週間程寝かせます。
  - ② 化成肥料をひとつかみ混ぜ合わせ、さらに2週間程寝かせます。
  - ③ プランターで育てる場合は、まず鉢底石をプランターの底が隠れるくらい敷きます。
  - ④ ①②で作った土を③のプランターにふんわり入れていきます。量はプランターの8~9割が目安。
- ※市販の培養土(花と野菜の土)等を使う場合は、①②は行わず、③④のみでOK

ゴーヤなどのウリ科の植物は、連作障害が起りやすいため、毎年土を入れ替えよう。

### (3) ネット張り

- ① ネットの上下に支柱を取り付けます。
- ② 支柱を網目に交互に通し、結束バンドで固定します。
- ③ ロープなどを使って、上下の支柱を2階のバルコニーや手すりなど頑丈な箇所に固定します。
- ④ 固定する場所がない場合は、突っ張り棒等を立てます。
- ⑤ 下の支柱は、レンガなどの重しで固定します。

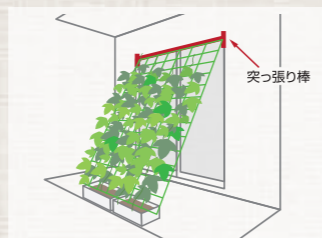
台風や強風の時は、固定を補強するか、一時的に外して、植物の根元が折れないよう優しくたたもう!



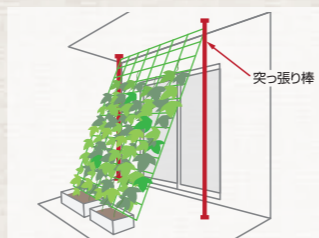
支柱を網目に交互に通す



2階のバルコニーにネットを固定



はめ殺し窓等はサイドの壁や窓枠を利用して「突っ張り棒」を渡す



上下に突っ張り棒を固定

## ● 種まき～発芽編

### (1) 種まき・発芽

- ① ゴーヤの種は図のように、先端の突起部分を爪切りなどでカットします。  
※アサガオはそのままOK
- ② 一昼夜水に浸します。  
※市販の種は発芽促進処理をしている場合があるので、袋の説明に従ってください。
- ③ プランターには1か所に2~3粒を30~50cm離してまき、2cm程土をかぶせます。ポリポットには1粒ずつまき、2cm程土をかぶせます。
- ④ 水は1日に1回表面が乾いたらたっぷりとかけてください。10日程で発芽します。



①先端をカット ②一昼夜水に浸す



③1か所に2~3粒を30~50cm離す

### (2) 間引き・植替え

- ① プランターにまいた種は、本葉が2~3枚になったら育ちの悪いものをカットします。
- ② ポットにまいた種は、本葉が3~4枚になったら、プランター等に植替えます。

間引きはハサミ等を使ってカット。手で苗を抜くと良い苗まで痛めてしまうよ!

1つのプランターに多く植えすぎると根が張れず栄養の取り合いが起り、立派に育たないよ。1株につき20Lの土が目安。



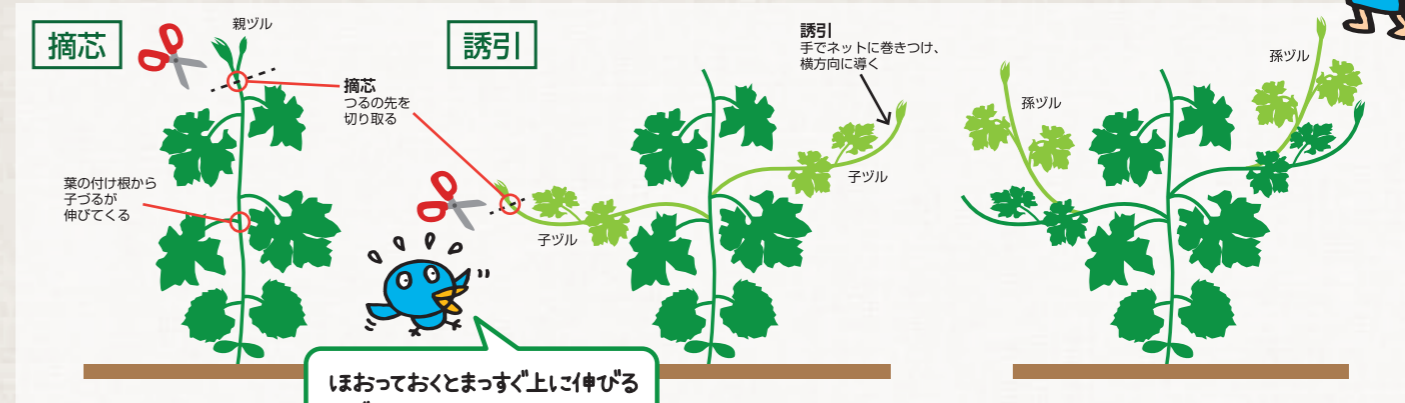
間引き

## ● 育成編

### (1) ツルの摘芯・誘引(重要!!)

- ① 本葉が5~7枚になったら、親ツル(最初に伸びたツル)の先端を2~3cmカット(摘芯)します。そうすると、脇芽(子ツル)が横から伸びてきます。
- ② ツルは上に伸びようとするので、横に広げようとして誘引し、ネットに固定します。
- ③ 子ツル、孫ツルも必要に応じて摘芯を行います。そうすると脇芽が出やすくなります。

ツルでおおわれていない部分に向かって、手でツルを導いていこう! 立派なカーテンづくりには重要だよ!



ほおっておくとまっすぐ上に伸びるので、カーテンにならないよ。

### (2) 水やり

- ① 梅雨明けまでは、朝涼しいうちに土の表面が乾いたらたっぷりあげてください。
- ② 梅雨が明け、どんどん暑くなってきたら、朝と夕方に2回あげてください。

昼間の暑い時間帯に水をあげると、プランターの中の水が暑くなりすぎて、根腐れをしてしまうので、涼しくなるまで待って水をあげよう!

水をやりすぎると根腐れを起しちゃうよ。基本は「乾いたらたっぷり」と



### (3) 追肥

- ① 植え付けから3~4週間後に追肥します。その後は2週間ごとに粒剤化成肥料(N:P:K=8:8:8)をプランター1基に1つかみ程度、根元から離してまきます。
- ② 土が固くなっていたら軽くほぐしましょう(根を傷つけないように注意)

**N P K**

葉に元気を

花や実をつける

根や茎を元気に

## ● ゴーヤの実の収穫編

### (1) 人工授粉

- 高層階など自然の受粉が期待できない場合に必要です。
- ① 花には雄花と雌花があります。雄花をちぎり、黄色の花粉を雌花のめしべに直接つけるか、綿棒などで雄花の花粉をとり、めしべにつけます。
  - ② 授粉が成功すると、雌花のゴーヤの赤ちゃんがだんだん膨らんでいきます。



雌花  
ゴーヤの赤ちゃん付き



雄花  
真ん中が黄色い

### (2) 実の収穫

- ① 若採りが基本です(特に最初の実)。大きさではなく、緑色がみずみずしく濃く、表面のイボイボにハリがあるうちに収穫しましょう。

